

平成26年度公益財団法人福島県学術教育振興財団助成金実績報告

平成27年3月17日

公益財団法人福島県学術教育振興財団代表理事 様

申請者	住所	〒969-0802 福島県会津若松市徒之町1-37
	氏名 (団体名・代表者名)	校長 二瓶 益幸 印 (TEL 0242-27-7456)
	所属機関の所在地	福島県会津若松市徒之町1-37
	所属機関の名称 (機関等名・代表者名)	福島県立会津工業高等学校 校長 二瓶 益幸
連絡者 (団体の場合は、申請事務担当者)		教頭 鈴木 稔 (TEL 0242-27-7456)

平成26年4月22日付け 福学振第11号により助成金交付の決定を受けた事業が完了したので、下記のとおり報告します。

記

事業名 地域と連携した創造性豊かな技術者を育成するものづくり教育事業

1. 事業 (調査研究等) 実績の概要

月 日	事業名	内 容
5月	・校内組織の立ち上げと事業説明	・事業内容の説明と役割分担、年間計画及び予算の執行について、各科長及び各担当者に説明した。
6月	・NPO法人教育・雇用研究機構との合同会議	・NPO法人「教育・雇用研究機構」が事業母体である、福島県地域産業復興人材育成事業と本校の事業がリンクできるところがあれば、お互いに協力していくこととなった。中でも、3D-CADと3Dプリンターを基軸として事業を協力して実践することにした。
	・高度技術者派遣事業 (2回実施)	・機械科の生徒が受験する、3級技能士 (普通旋盤作業) の検定試験に合わせて、外部より高度技術者を講師として招聘し、講習会を実施した。



			
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業での3Dプリンター研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・最先端の3Dプリンターが導入されている、地元の(株)北日本金型工業に生徒と教員が出向き研修会を実施した。尚、3D-CADと3Dプリンターの事業実践は、機械科3年生の課題研究班の1班(6名)を取り組ませることにした。 	 
	<ul style="list-style-type: none"> ・会津ものづくり工房「Fab蔵」における共同研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・雇用研究機構との会議を受け、会津ものづくり工房「Fab蔵」との共同事業を実施することとした。何ができるか!何をするか!を検討した結果、3D-CADと3Dプリンターを活用して、名刺入れをデザインし制作することとした。さらには、地場産業である会津塗で外観を完成させるになった。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・外部での3D-CAD 3Dプリンター研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国工業高等学校長協会主催の3D-CAD、3Dプリンター研修に教員1名が参加した。 	

8月

・3Dプリンター取り扱い校内研修



・3Dプリンターが導入され、(株)ムトウより講師を呼んで、取り扱い校内研修を行った。

・会津ものづくり工房「Fab蔵」での合同企画デザイン実習（6回実施）

・会津大学の学生のアドバイスを受けながら、名刺入れのデザイン企画とモデリングを行った。



・日本工業大学主催3D-CADプロダクトデザインコンテストへの応募

・課題研究班の生徒が、自分たちで考えた作品をモデリングして、テーマ部門と自由部門の課題に「会工T S U R Uさんチーム」で応募した。



<p>10月</p>	<p>・日本工業大学主催3D-CADプロダクトデザインコンテスト自由課題部門入選</p>	<p>自由課題部門に入選し、機械科3年の青木琢馬君が代表して授賞式に出席した。</p>  
<p>11月</p>	<p>・ロボコン in あいづ 2014での展示 (県立大沼高校にて)</p>	<p>・生徒が製作した作品を発表する機会を設けるため、地元開催されたイベント会場で自分たちの取り組みをPRした。</p>  
<p>・福島県ハイテクプラザの施設見学</p>	<p>・機械科1年生が施設見学を実施し、先端技術の凄さや新商品の開発品などその技術力を実感した。</p>	



・第2回福島県立会津工業高等学校「地域と連携した創造性豊かな技術者を育成するものづくり教育事業」及びNPO法人教育・雇用研究機構「福島県地域産業復興人材育成事業」合同協議会

・今年度の事業中間報告と今後のスケジュールについて説明した。また、アドバイザーの方々よりいろいろなご意見をいただき、今後の事業への取り組み方について議論を深めた。

・第10回中小企業総合展東京2014への出展
(東京ビックサイト)

第10回中小企業総合展には、前日のブースセッティングおよび1日目に参加し、生徒たちは、一生懸命、展示物やパネルの説明をして、名刺交換も積極的に行った。初めは、緊張していたが、次第に慣れ、生徒たちから積極的に声をかけて展示品のアピールを行った。帰る時には、最後までやりたかったとの声も聞かれ、短い間ではあったが、充実した時間を過ごすことができた。



	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施状況調査 (学校側の出席者) <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木教頭 ・渡部担当主任 ・近内主任主査 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査員として、財団より眞田氏・折笠氏2名が来校し、以下の4点について資料をもとに説明した。 <ol style="list-style-type: none"> ①事業の実施及び成果について ②会計処理について ③申請関係について ④その他
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・高度熟練 技術者派遣事業 (セラミック化学科) (9回実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ろくろ技能検定を受験するにあたり、講師に会津本郷焼「閑山窯」の窯元の手代木崇先生を招聘して指導を受けた。  
	<ul style="list-style-type: none"> ・校内課題研究発表会 (関係機関出席) 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内課題研究会を、本校の南体育館で開催した。企業、県関係者、同窓会、保護者並びに事業関係者など多くの来賓が参加した。 発表は、本校各学科から1テーマ、喜多方桐桜高校の1テーマの計6テーマで行われ、全発表とも、内容のある素晴らしい  

		<p>ものであった。 最後に、どのテーマも、内容のレベルが高くすばらしい発表であったと講評があった。</p>  <p>「発表テーマ名」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①錯視を利用した壁面ディスプレイの製作 ②ガスセンサの試作と評価 ③LEDを利用した水耕栽培 ④情報通信と制御システムを活用したアイデアシステムの構築 ～すんごい座席& How's the weather? ～ ⑤最先端のものづくり ～3Dプリンターを利用して～ ⑥刃物の製作
2月	<p>・事業のまとめ、外部評価</p>	 <p>本事業と「福島県地域産業復興人財育成事業」との合同評価会を開催した。9名の出席者（学校側3名、外部6名）の中で2事業からの報告をして、質疑応答や意見が出され意義のある会議が開催された。 詳細は、別紙のとおり。</p>
3月	<p>・報告書作成</p>	<p>・様式第5・6についてまとめ報告した。</p>

2・事業実施組織（事業代表者及び分担者）	氏名	団体（機関）における職	役割分担（本年度の事業実施計画に関する役割分担事項を記入すること）	備考
	二瓶益幸 鈴木稔 渡部哲 菅家慶広 山口美和 野中寿勝 森武久 鈴木國人 近内尚子 吉田孝明 阿部友一 鈴木雅博 高橋浩二 山田賢 他工業科職員	学 校 長 教 頭 機 械 科 主 任 地 域 連 携 推 進 部 NPO教育雇用研究機構 会津美里町教育委員会 学 校 評 議 員 会津美里町 主 任 主 査 機 械 科 機 械 科 機 械 科 機 械 科 機 械 科	総括（申請責任者） 総務・事務局長 担当主任 地域企業との調整と連携 事業への指導助言と評価 事業への指導助言と評価 事業への指導助言と評価 事業への指導助言と評価 事業への指導助言と評価 会計担当 担当 担当 担当 担当 担当	
	計（14）名			
事業完了年月日	平成27年3月31日			